

令和6年度第3回米子市保育所等給食運営委員会会議概要

- 1 開催日時 令和6年11月15日（金）午後2時00分～午後3時40分
- 2 開催場所 米子市シルバー人材センター 2階会議室
- 3 出席者 （敬称略）

[米子市保育所等給食運営委員会委員]

矢野委員、新宮委員、梁川委員、藤光委員、小田委員、隠樹委員、松本委員、石委員 堀部委員 （欠席：大前委員）

[事務局]

枡本担当課長補佐

4 会議の次第

1) 開会

2) 議事

（1）令和6年度保育所等給食調理業務視察について

（2）令和6年度上半期保育所等給食調理等委託業務評価について

（3）給食調理業務実施状況について

3) その他

4) 閉会

5 議事の概要

（注 資料説明は省略してあります。また、発言は要約してあります。）

事務局 「資料1」を説明

事務局 指摘、質問事項について、下線を引いている。彦名保育園の指摘について、廊下の照明のゆるみは来年度予算要求をしているところである。それ以外については、改善済である。どんぐりこども園について、調理室、保育室に改めて異物混入防止、衛生管理の徹底をお願いしている。網戸の設置については、現状難しいが、対応について検討していく。

委員長 質問等あるか。

委員 A 昨年、給食を運ぶワゴンの拭き方が雑であると指摘した。今年は、一人はできていて、一人はできていなかった。昨年と意識が変わっていない。なぜそうなるか。調理場は最新の施設もあればそうでない施設もある。アレルギー対応や食数が多いのは関係ない。業者や人が変わろうが、やることは同じである。何が足りないのか、考えてもらわないと改善はしないと思う。昨年、指摘して、改善されていないのが、現状の結果である。そこをどう直すのか、業者がどう指導するのか、今度の業者との意見交換会で教えてもらいたい。

委員長 意見を受けて事務局どうか。

事務局 やはり皆が共通理解を持って取り組まないといけないこと、新しい職員が入っても同じ意識を持って取り組まなければならないと思う。

委員 A 事故が多い。ラップの混入もあったが、かけ方を改善すれば、事故は起きない。他のアレルギー誤提供など飛び火しないで済むと思う。

委員長 このことは、業者にも投げかけているのか。

事務局 指摘についてはお伝えして、視察後に施設点検を2回実施している。

委員長 ただ、今までと同じになるので、何かやり方を変えないといけない。こう変えますと
いうことを施設課としてももらわなければならない。次の委員会で、もう一步詰めて報告してほしい。

委員 A 事務局からではなく業者からどう改善、指導したのか教えてほしい。

委員 B 昨年も淀江どんぐりこども園は課題があったと思う。同じ業者で3施設あり、同じ考え方で管理されていると思うが、ソフト面において問題があるような。どんぐりこども園だけ何かあるのか。

委員 A あると思う。園児とのコミュニケーションが薄いと感じる。忙しいのは分かるが、他の園も忙しい。食数が少ないところも違う忙しさがあると思う。その中で、食育の話をしたり、声をかけたりしている。保育園の給食室ではなく、市役所の食堂の様にしか見えなかった。そのような雰囲気がある。技術は高いと思うが、食育の部分が一番足りていないような気がする。

委員 C 保健所的に、逆説的な見方をしてしまうところもあるが、ラップであるとか、こだわっているが。なぜ、こだわるのか。そこは、異物混入対策である。ラップ自身が異物になる可能性が出てきてしまっている。どちらが大事かと思う。調理室内に何か飛んできて、園児達の口に入ってきてしまう異物となる。そこがなければ、そもそもラップはいらないということになる。狭いし、あるからやっているのだろうなというところで、やる方に反対もしないし、やらない方でも対策がとれていれば反対はない。異物になる可能性があるのであればやらない方がいいという感覚。一番いい例かわからないが、同じ米子市の学校給食では前処理終わって調理室に運ばれる食材にラップはしない。大きくきれいな施設で何か入ってくる可能性はほぼない。コバエなど発生するかもしれないが、対策があれば、そもそも入らないという原則で、できているのだと思う。小さな施設で網戸もないような施設では、だからこそ大事なのかとも思う。網戸を付ける対策をすとか、今度の新しい園では入らないようにすとか。そもそも入らないようにすると受託されている人達も気にせずにより一層おいしい給食や別のことに気が付かれ、一人一人の余力につながり、よい方向になると思う。何のためにグローブしてやっているのか。もちろん病原菌が付いているわけではないが、究極を言うとグローブも雑菌があるのではないだろうか。グローブもちぎれたりするわけで、加熱前の食材を扱う、食器を扱うのにグローブはいるのか。そこはプロがされることなので、感覚の話になるが、何のためにするのか、余計なところでグローブをしているのではないか、という目線もあっていいのではないかと思う。しなければならないと決まっていて、何かしらの作業でちぎれてしまうこともあるが、そこがどうなのかと。突き詰めていくとそういう話になる。我々の手に付いている食中毒菌で黄色ブドウ球菌があるが、口に入ったとして、自分が食べても食中毒にはならない。菌の量の問題で、菌が付いた手で握ったおにぎりが6~8時間後に指数関数で増えて、それを食べると食中毒になる。すぐに食べるのでは食中毒にならない。また、ノロウイルスに感染した従業員がいるとして、下痢便から感染しても、手洗いがあれば落ちる。そういう部分を気にしてグローブはいるのか。絶対に必要な部分もあるだろうが、できれば全部無くした方が入らない。

委員長 ルール化した中で進んできて、一度立ち止まって考えることも必要な中で、何のためにしているのか業者に考えてもらう作業もあっていいのではないかと考えていいか。

委員 C 一緒に考えたらいいと思う。

委員 A 昔、ラップはしてなかった。虫が入る、髪の毛が入る事故が多発したこともあり、コストがかかるが、安全のためにラップをすることになった。手袋やラップの混入があるのは淀江どんぐりだけである。ラップや手袋の切れ端が入ることを言っているのではなくて、決まったことができていない所は、大きな事故、アレルギー誤提供につながる。ニトリル手袋も必要ないと思うが、ノロウイルスもあるし、何かあるので、必要だと思う。ちょっとよけてラップするだけでいいが馴染んでいないので、同じことをしている。学校給食センターに視察に行ったことが何度かあるが、そこはすばらしい施設である。保育園の古い園舎はそうはいかない。私がこだわりたいのは、安心安全を守る。今になってなぜ異物混入するのか。納得がいかない。なかったらなかったで、困る。保育室で入ったのか、どこで入ったのかわからなくなるので、徹底されるようになった。

委員長 何のためにしているのか仕向けないといけない。大事である。次回、業者との話あいもあるので、そのあたり明らかになる。

事務局 「資料2」を説明

委員長 質問等あるか。

委員 D 園児とのコミュニケーションというところで、同じ業者でここだけでできていないのはどうしてなのか。評価基準に給食を食べているところを見るとある。従業員も多く、自分の子どもが通っている園と比較するとハード面も人数も十分な形に感じるがなぜできていないのか。指摘のところでも、そもそもなぜこれをやっているのか、業者のなかでも教育、指導などで伝える仕組みがあるのか気になった。踏み込んだ対策が必要だと思う。事故が起こった時にどこまで踏み込んだ指導ができるのか気になる。

事務局 どうしてもハード面で他の園と比較して、給食室の広さ、乳児食もあり、また、全体の食数が多い。

事務局 新しい施設で給食室の声が外から聞こえない。他の園だとトイレなど共有部分があり、園の中で園児とコミュニケーションをとることもあるが、新しい施設では、共有部分がないので、時間を作って給食を食べる様子を見に出てくることなどが現状ではある。

委員 D 今後も新しい施設ができるということで、同じような事故が起こることがないように抜本的な仕組みを変えないと、言われている人も大変である。

委員長 同じ業者でも他の園では事故がない中で、業者の原因ではなくて、何か独立したもののがあるのか。

事務局 人数が多いこともあり、意識を持って、共通理解ができていないことがあるのかもしれない。

委員長 50人も100人もいる職場でないで、他の園では共通理解できていて、ここだけでできていないのはどうか。教育をまんべんなく浸透させることは業者にある。原因は責任者なのか、従業員にあるのか。極端な話、従業員を入れ替えることも考え

てもらう。ただ、事実は掴めているが要因を掴めていない。やはり要因を掴まないといけない。

委員 A 園長と話をしたが、従業員同士のコミュニケーションも図られていない様感じた。どこに要因があるのか業者が調べるべきで、米子市がやるべきことではない。園長も色々考えておられるが、負担である。いい具合で、事務局も入って根本的な解決してほしい。

委員 A お願いがある。以前は視察の後に会議をしていた。昨年も視察後に会議はなかったが、視察から時間が経過し、視察したことをあまり思い出せない。視察後すぐに、視察について話がしたい。

委員長 そういった意見があったということで、皆さんの意見を聞いて決める。

事務局 「資料3～6」を説明

委員長 質問等あるか。

委員 A 米の着色もよく見つけられた。すばらしい。

委員 E すぐに報告があり、新しい米袋があったので炊き直して提供できた。色々確認したが原因は不明。

委員長 資料3のその他は何が該当なのか。

事務局 保育実習生や試食会の食数である。

委員 C ばねの劣化は事前に見抜くことは不可能かと思う。

事務局 修繕の業者にも確認したが、難しいとのことだった。

委員 C 10年に1回交換すればよいものなのか。費用のこともあるが。

事務局 確認していない。

委員長 今回、煮物に少しでも入っている可能性があったので、提供しなかった。

委員 A 園児のことを考えたら食べられないのは。バナナがあつてよかった。回転釜は消耗品で今回は仕方ない。

委員 C 他の園でも同じような釜、それ以前に設置された釜を使っているところはそろそろ古いのでは。

委員 F こういう事故があつてから、修繕業者に来てもらって、一通り確認してもらった。

委員 A こういうのは事務局発信ではないのか。

事務局 こちらからも修繕業者に見ていただくようお願いしたが、ねじの劣化については、事前に見つけることは難しいと言われた。

委員 C その対策も記載してもらえるとよい。

委員 A 保護者の委員の方は、視察は初めてだったと思うがどうだったか。色々指摘してきたが、いいところもいっぱいある。

委員 B 色々なことに気を遣っていただいていることが、わかった。保護者として安心して預けられると感じた。

委員 D ここまで細かくされているに感動しましたし、安心した。試食で赤魚を食べたが、骨などもしっかりとってあつて、それにかかる労力もあるが、それに加えて衛生管理、異物混入対策もされてすごいと感じた。

委員 A 米子市保育施設は本当にすごい。全国に誇れるレベル。感謝している。

委員長 議事はこれで終了。事務局からその他についてあるか。

事務局 啓成小学校の隣に建築中だった東保育園が完成し、来年の1月4日から運営を開始

することになる。これに伴って調理業務も新園舎にてすることになる。
次回の運営委員会は3月になる。

閉会